

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 18 日(2022.10.18)

【公開番号】特開 2021-10500(P2021-10500A)

【公開日】令和 3 年 2 月 4 日(2021.2.4)

【年通号数】公開・登録公報 2021-005

【出願番号】特願 2019-125619(P2019-125619)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 6 日(2022.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンの中からいずれかを選択し、該選択した変動パターンで演出用図柄を用いた図柄演出を行う図柄演出実行手段と、

受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において受け付けがなされると、該受付状態の種別に応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

30

前記受付状態として、第 1 受付状態及び第 2 受付状態を含む複数種別の受付状態が用意されており、

前記第 1 受付状態で受け付けがなされると、該受け付けに応じた前記受付後変化の 1 つとしての特定表示を実行可能であり、前記演出用図柄は、少なくとも該特定表示が表示されている間、該特定表示よりも優先表示され、

前記第 2 受付状態で受け付けがなされると、該受け付けに応じた前記受付後変化の 1 つとしての特別表示を実行可能であり、前記演出用図柄は、少なくとも該特別表示が表示されている間、視認し難くされる態様で表示されるか、または非表示にされ、

前記第 2 受付状態における受け付けに応じた前記特別表示が表示されているなかで遊技者による所定操作の受け付けがなされると、該受け付けを契機として、前記特別表示が非表示の状態にされうようになり、

40

前記第 2 受付状態は、特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合があるものであり、

さらに、

前記第 2 受付状態は、前記特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合だけでなく、前記特定 B G M が非可聴状態にされているなかで発生する場合もあるものであり、

さらに、

前記第 2 受付状態は、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始されると、該図柄演出が実行

50

開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数以上の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄演出が実行開始されたときには、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しないようになっており、

さらに、

前記第 2 受付状態は、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始されると、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始された場合であっても、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過するよりも前に前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が増加したときには該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しない

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 7】

手段 1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで演出用図柄を用いた図柄演出を行う図柄演出実行手段と、

受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において受け付けがなされると、該受付状態の種別に応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

前記受付状態として、第 1 受付状態及び第 2 受付状態を含む複数種別の受付状態が用意されており、

30

前記第 1 受付状態で受け付けがなされると、該受け付けに応じた前記受付後変化の 1 つとしての特定表示を実行可能であり、前記演出用図柄は、少なくとも該特定表示が表示されている間、該特定表示よりも優先表示され、

前記第 2 受付状態で受け付けがなされると、該受け付けに応じた前記受付後変化の 1 つとしての特別表示を実行可能であり、前記演出用図柄は、少なくとも該特別表示が表示されている間、視認し難くされる態様で表示されるか、または非表示にされ、

前記第 2 受付状態における受け付けに応じた前記特別表示が表示されているなかで遊技者による所定操作の受け付けがなされると、該受け付けを契機として、前記特別表示が非表示の状態にされうようになっており、

40

前記第 2 受付状態は、特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合があるものであり、

さらに、

前記第 2 受付状態は、前記特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合だけでなく、前記特定 B G M が非可聴状態にされているなかで発生する場合もあるものであり、

さらに、

前記第 2 受付状態は、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始されると、該図柄演出が実行開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段に

50

より記憶される判定情報の数が前記所定数以上の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記図柄演出が実行開始されたときには、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しないようになっており、

さらに、

前記第2受付状態は、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始されると、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が前記所定数未満の状況にあるときに前記特定変動パターンで前記演出用図柄を用いた図柄演出が実行開始された場合であっても、該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過するよりも前に前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が増加したときには該図柄演出が実行開始されてから前記特定時間が経過しても発生しない

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50